

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, 第50号別冊 日・韓国際学術シンポジウム「東アジアの平和と民主主義」特集号, 2011.3 : 197-195
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3175
Rights	


 The logo for SERVE consists of the word "SERVE" in a serif font. The letter "V" is replaced by a stylized checkmark symbol. The "E" at the end is also stylized, with a square box at its base.

聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

尹 永 寛 (Young-kwan YOON)

ソウル大学社会科学大学政治外交学部教授。韓半島平和研究院院長，国際問題研究所長。米ジョンズ・ホップキンス大学 (SAIS) で国際政治学博士の学位取得。米カリフォルニア大学 (UC Davis) でティーチング。2003-04 年外交交通商省長官。著書に『転換期国際政治経済と韓国』、『21世紀韓国政治経済モデル』，論文は国際及び国内ジャーナルなどに50余便を出刊。

ヤン・C・キム (Young C. KIM)

米ジョージ・ワシントン大学政治学部名誉教授。米ペンシルベニア大学政治学博士。バンドビルト大学，ポストン大学，ホバート・ウイリアム大学等で教鞭をとった後，米ジョージ・ワシントン大学政治学部教授，シグール・アジア研究所顧問。現在慶応大学法学部政治学科招聘教授として滞日中。東アジア国際関係分野で著書多数。

小此木 政夫 (Masao OKONOJI)

慶応義塾大学法学部教授。1969年慶応義塾大学法学部政治学科卒業。1975年同大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学（1972年から1974年延世大学校に留学），1987年博士（法学）学位取得。同大学法学部講師・助教授を経て，1985年から現職。『朝鮮戦争——米国の介入過程』、『日本と北朝鮮・これから5年——南北統一への視点とシナリオ』他。

金 千 植 (Chun Sig KIM)

1956年生まれ。ソウル大学卒業。大統領外交安保首席室統一担当課長，統一省南北交流協力局長を経て，現在，統一省統一政策室長。

康 仁 徳 (In Duk KANG)

(財)極東問題研究所理事長・所長。韓国外国語大学大学院修了。慶熙大学政治学博士。中央情報省北朝鮮局長などを歴任，統一省・国防省・文教省諮問委員。1998-1999年統一省長官。現在北韓大学院大学招聘教授，聖学院大学総合研究所客員教授。著書に『南北会談：7.4から6.15まで』，『原典共産主義大系』，『北朝鮮問題をどう解くか——東アジアの平和と民主主義のために』(編著)，「対北朝鮮交渉研究——南北対話30年の教訓」，「北朝鮮の7.1経済措置と最近動向」他。

洪 性 国 (Song-Kuk HONG)

(財)極東問題研究所北韓研究室長。ロシア社会科学院経済学博士。統一省経済担当官・審議官，統一教育院客員教授を経て現職。著書に『平和経済論』，『自力更正の岐路：北朝鮮経済理論と実際』，「北朝鮮のGNI分配構造と住民の消費生活水準」，「南北経協10年，反省的評価と課題」，「北朝鮮の先軍政治が北朝鮮経済に及ぼす影響」他。

趙 明 哲 (Myung Chul CHO)

対外経済政策研究院国際開発協力センター所長。金日成大学で大学院卒業。同大学経済学部教授。現在統一省政策諮問委員，大統領所属社会統合委員会委員。主著に『中国の東北3省開発が北中近隣地域の産業及び基盤施設開発に及ぼす影響分析』，『体制転換国の市場経済教育経験が北朝鮮に与える時事点』，『北朝鮮の対外経済の制約要因分析』他。

遠藤 哲也 (Tetsuya ENDO)

元日朝国交正常化交渉日本政府代表。1958年東京大学法学部卒業。外務省入省。58年より2年間プリンストン大学等留学。国際原子力機関 (IAEA) 理事会議長，在ウィーン国際機関日本政府代表部特命全権大使，日朝国交正常化交渉日本政府代表，ニュー・ジーランド日本国特命全権大使，原子力委員会委員長代理を経て現在外務省参与 (IAEA核不拡散問題諮問委員会委員)，財団法人日本国際問題研究所シニアフェロー。東アジア国際関係分野で著書多数。

任 成 彬 (Sung Bihn YIM)

長老会神学大学学校教授 (キリストと文化)。プリンストン (Princeton) 神学大学院神学博士 (キリスト教倫理学専門)。韓半島平和研究院運営委員, キリスト教倫理実践運動本部共同代表, 文化宣教研究院院長, キリスト経営研究院理事, 主著に『公共神学とは何か』(共著), 『キリスト教文化と韓国文化』, 『デジタル・メディア時代の文化宣教』他。

宮 本 悟 (Satoru MIYAMOTO)

聖学院大学総合研究所准教授。ソウル大学政治学科修士号取得。神戸大学大学院法学研究科博士号 (政治学) 取得。日本国際問題研究所研究員を経て, 2009年4月から聖学院大学総合研究所准教授。著書に「韓国のミサイル開発——自主国防と韓米軍事同盟の摩擦」, 「北朝鮮における政軍関係～なぜ北朝鮮の軍人はクーデターを起こさなかったのか?」, “Economic Sanctions by Japan against North Korea: Consideration of the Legislation Process for FEFTCL (Feb. 2004) and LSMCIPES (Jun. 2004)” 他。

小田川 興 (Ko ODAGAWA)

聖学院大学総合研究所客員教授。早稲田大学卒。朝日新聞社入社, ソウル支局長, 外報部編集委員などを経て, 2002年退社。現在聖学院大学総合研究所客員教授。日本記者クラブ会員。著書に『38度線・非武装地帯を歩く』, 『被爆韓国人』(編訳), 『朝鮮半島・平和の構図』, 『北朝鮮——その実像と軌跡』, 『日本のジャーナリズムとは何か』(共著), 『北朝鮮問題をどう解くか——東アジアの平和と民主主義のために』(編著) 他。